

第251回研究科委員会・第360回教員会議 議事要録

日時：令和5年11月8日（水） 研究科委員会12：50～13：22／教員会議14：45～16：15

場所：後援募金記念棟 会議室1-3

議 題

◆研究科委員会◆

[審議事項]

1. 教務委員会

(1) 博士論文審査における国際学会発表の基準について

最初に研究科長から、国際学会発表に関して経緯の説明があった。委員長から資料1に基づき、「5. 論文・学会発表の基準」について、現行の申合せ内容の説明があった。質疑応答の後、提案どおり承認された。

(2) 令和5年度非常勤講師計画について

資料2に基づき説明があった。72番理工で実施予定の「院）放射線影響学」は、受講生がいないため取り下げとなる。特に質問等はなく、提案通り承認された。

[報告事項]

1. 教務委員会

(1) 令和5年度10月期入学大学院研究課題等一覧について

資料3に基づき説明があった。生命・環境コース1名と数理・情報システムコース1名の研究課題が紹介された。いずれも履修パターンは専門性重視型である。

(2) 第99回全学教務協議会について

(審議事項)

・令和6年度開講計画の策定にあたって

資料4に基づき説明があった。本学では2020年度から共通講義棟・学類演習室等の教室収容定員を半減して授業運営してきたが、2023年夏の集中講義から収容制限を解除している。また、2023年度後期から第一体育館の耐震改修工事が始まり、体育関連の授業科目を第二体育館等に移して運営しているが、これも今年度末には完了する見通しである。そこで、2024年度は本来の教室収容定員に戻して授業運営を行うこととするとの報告があった。

・令和6年度授業日程（案）について

資料5に基づき説明があった。まだ案の段階だが、みなし土曜日とみなし月曜日が3回ずつある。不都合等があれば教務委員長に連絡してほしい。

◆運営会議◆

○第191回（10月31日開催）報告

はじめに、研究科長から IER 所長は運営会議構成員ではないため、研究科委員会で運営会議報告を行い情報共有したいとの説明があった。

(1) 【協議】教員評価制度の改善について

資料1に基づき説明があった。各学類からの意見に基づき、基準表の修正箇所等について説明があった。意見等があれば、次回の評議会（11月28日開催）までに研究科長に出してほしいとの依頼があった。

(2) 【報告】 共生システム理工学類令和7年4月定員増に係る

基幹教員制度適用に伴う「主要授業科目」の設定について

資料2に基づき説明があった。「意見伺い」の設置審書類を出す必要があり、その書類では基幹教員制度適用に伴う「主要授業科目」の設定が必要である。書類の書式や基幹教員の定義についても説明があった。

(3) 【報告】 早期退職希望者の募集について

資料3に基づき説明があった。総合案内とメールで詳細の連絡が届く。早期退職希望者は、あらかじめ所属長に相談のうえ応募するようとの依頼があった。

(4) 【報告】 特定年俸制への移行者の募集について

議題申請書で説明があった。希望者には人事課から説明がある。

(5) その他情報共有等

研究科長から、運営会議において、学長から副学長選挙についてスケジュールの説明がされたとの報告があった。

【13:30～14:42 ハラスメント研修】

◆教員会議◆

[審議事項]

1. 学類長

(1) 教員の任用について

1) 選考日程並びに教員選考委員会の提案について

資料はなく、学類長から口頭で提案があった。情報系で5名、メカトロ系で1名の公募を行っている。メカトロ系は予定通りの10月16日で応募を締め切り、情報系は公募期間を1か月延長して11月15日までとした。メカトロ系については応募締め切り後1か月近く経つので、早く選考を進める必要があるため、学類長から日程案が示され選考委員会について学類長から申合せの説明と提案があった。

選考委員は学類長と当該分野長が相談し、情報系は教授2名准教授1名の3名、メカトロ系は教授2名が提案され、特に質問等はなく、提案通り承認された。

2) 教員資格調査委員会の設置について（投票）

まず、学類長から教員資格調査委員会の規程に関する説明があった。そして、今回設置する二つの資格調査委員会のメンバーが重ならないほうが望ましいとの提案があり、最初に情報系、次にメカトロ系の投票を行うこととした。無記名により、二つの教員資格調査委員会の設置について投票が行われた。投票の結果は、次のとおりである（数字は得票数）。

情報系：当該分野＝教授31、教授20、他分野＝教授16、教授15

メカトロ系：当該分野＝教授32、教授23、他分野＝教授14、教授8

なお、学系からの資格調査委員は、情報系については自然科学・情報学系から選出し、メカトロ系については応用理工学系選出することになった。

2. 教務委員会

(1) 編入学者の既修得単位の認定単位数について

次回以降の教員会議で審議することにした。

(2) 令和5年度非常勤講師計画について

資料2に基づき説明があった。46番の「(新)再生可能エネルギーⅡ」について、新規で認められた。

特に質問等はなく、提案通り承認された。

3. アドミッションセンター運営委員会

(1) 令和7年度入試対応（過年度生）について（一般選抜及び学校推薦型入試）

プロジェクター投影により説明があった。前回の教員会議で認められたが、その後アドミッションセンターから指摘があり、過年度生についての記載内容の変更が提案され、特に質問等はなく、提案通り承認された。

[報告事項]

1. 学類長

(1) 学類定員増に係る設置審査対応（2024年3月提出）について

資料7に基づき説明があった。「1. 設置審査書類作成の体制」は、学類執行部から教授3名、室長の4名、学生確保の見通し等対応は教授4名となった。「2. 教育課程対応」は、教授2名、准教授3名の5名（いずれも学類基礎科目検討チーム）が当たることになった。教育課程対応は、履修基準表、カリキュラム作成（コマ配置含む）、コースのカリキュラムマップ（DPとの対応含む）等の作成を担う。

(2) 令和5年12月期における期末手当及び勤勉手当の加算該当者の推薦について

資料がプロジェクター投影され、教育職（一）5級6名、教育職（一）4級4名の該当者が報告された。

(3) 令和5年12月期勤勉手当に係る「勤務成績が特に優秀な職員」

及び「勤務成績が優秀な職員」（教育職員）の推薦について

資料がプロジェクター投影され、特に優秀な職員3名と優秀な職員11名の該当者が報告された。

(4) その他

学類長から、地域×データの委員選出について、准教授に出席いただくことで了承を得たとの報告があった。

2. 教務委員会

(1) 学生の休学について

プロジェクター投影により、休学者2名の報告があった。

3. 学類基礎科目検討チーム

(1) 学類基礎科目検討チームの中間報告

資料8に基づき評議員から説明があった。将来構想検討委員会資料（231011）を引用した検討課題の説明後、現行の学類基礎科目の紹介、続けて学類基礎科目の見直しについて説明があった。最後に学類長から、将来構想検討委員会からは12月に最終案を出す予定となっており、基礎科目は12月に最終版を提案して次の段階に進めたいと考えていることから、この後1週間を目途に意見聴取したいとの発言があった。

4. 奨学寄附金の受入について

共同研究1件の受け入れが報告された。

◆教育研究評議会◆

○第406回（10月24日開催）報告

(1) 【報告】教員評価制度の改善について（戻り報告）

資料1に基づき説明があった。各学類長から戻り報告があった。

(2) 【報告】 就業規則の一部改正について
資料2-1に基づき説明があった。職員の定年が段階的に65歳になる。

(3) 【報告】 クロスアポイントメント制度に関する協定の締結について
資料3に基づき、特任教授の菊池製作所とのクロアポ協定締結が報告された。

(4) 【報告】 令和6年度科研費申請状況について
資料4に各種データが掲載されている。R6年度の申請率が過去最高へ向上した。

(5) 【報告】 岩手大学大学院連合農学研究科への参画報告について
資料非公開のため、概要の説明があった。